

はやま もり 麓山の杜みどり通信

発行元 公園振興事務所「とんがりふれあい館」
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17
TEL924-2194 FAX924-2195

平成25年度 記念樹交付&みどり講習会日程

5/19(日)・6/9(日)・9/8(日)・10/20(日)

11/10(日)・3/9(日)

※記念樹交付日にみどり講習会を開催致します。

◆地域緑化用樹木交付をご利用ください。

(地域緑化木交付対象団体)

◆生垣づくり助成制度をご利用ください。

(助成対象者)

※詳細についてはお問い合わせください。

平成25年度【みどり講習会】

次回：4月14日(日)午前開催

場所：麓山の杜 『社のエントランス』

テーマ：「記念樹の育て方初歩講座」

時間：午前 10:30~12:30

※ワンポイント マツのみどり摘みと
大きくなりすぎたコニファーの剪定

記念樹交付「10時~15時」他は事務所へ

樹木医の先生が、緑に関するご質問にお答え致します。
参加費無料ですので、お気軽にご参加ください。

ガーデニング ワンポイント

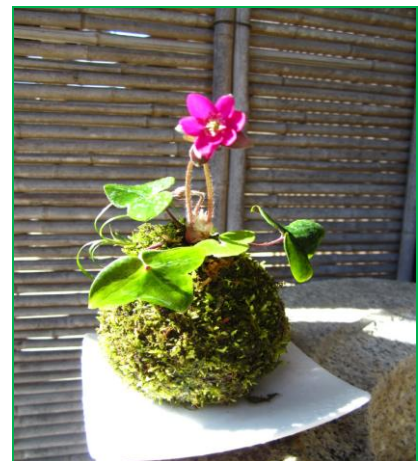
早春の草花が咲き始めましたよ

先日、陽だまりにフクジュソウの花を見つけました。樹木の新芽や蕾も三月の声を聴き、水分を蓄えて膨らみ始めました。春は名だけの三月と言われまだ寒い日はありますが春なんですね。寒さに耐えてきた植物にしても動物にしても暖かい陽射しが待ち遠しいですね。

【水やり】 今年雪や雨が時々あるために灌水はあまり必要ありませんでした。ただし鉢植えやこれから雪が消え乾燥が続くときは灌水が必要です。葉の汚れも落とすように樹冠から全体を灌水します。樹木は春の芽吹きのためには水分が必要です。乾燥すると蕾などを落してしまう事もあります。

【肥料】 まだ寒肥が済んでいない場合は早めにあげます。この時期は醗酵済みの骨粉入り油粕などの有機質肥料がむきます。根の先端近くを数か所、壺穴状に掘りそこに肥料を入れて埋め戻します。それが面倒なら表土を少し柔らかくしてそこに撒いても構いません。冬の間に行う寒肥で春先の芽出しが違います。

【病害虫防除】 この時期はカイガラムシ、アブラムシなどの防除が厄介な害虫の駆除に適している、石灰硫黄合剤やマシン油乳剤などのこの時期しか使用できない薬剤の最終散布時期です。遅くなると薬害が出やすくなります。石灰硫黄合剤は病気にも効果があります。ただし石灰硫黄合剤はアルカリ性薬剤の為に臭いが強く体にも刺激が強く、また金属なども腐食させたりする薬害もありますので使用方法を順守しなければなりません。ただ安価で効果があり古くから使用されている薬剤です。また越冬している害虫の卵などは見つけ次第、薬剤に頼らず退治します。ニュースなどでマツのコモ巻をはずす映像を見かけ



「雪割り草の苔玉」

る時期になりましたが、そのコモの中には害虫だけでなく有益な天敵がいることも忘れないください。樹木に付いているものは総て害虫ではありません。薬剤だけにたよる防除は薬剤に対する抵抗性を増しさせたり、有益な生物を減ぼしたりする害も存在します。

【剪定】 まだこの時期は常緑樹広葉樹を剪定することは控えます。早くとも彼岸過ぎまでは待つようにします。マツ類は枝透かしなどをしてさっぱりとさせます。落葉樹の強い剪定は早めに行います。この時期になると切り口がしっとりしているのがわかります。また今年の花芽が出来ている樹木は注意しないと花芽まで切ってしまう。またカエデ類はすでに水分を上げていますので剪定は控えます。行くと切り口から樹液が出て樹勢を弱めてしまいます。落葉樹といっても総て同じわけではありません。また剪定作業は季節に応じた強弱が大事です。また切り口は病原菌の侵入を防ぐために癒合剤の塗布が必要です。

【植え替え】 常緑広葉樹は寒さの害を受けやすいために春の彼岸頃からが適期となります。そして新芽が動き出すまでとなります。落葉樹は落葉しているこの時期が適期ですから早めに行います。ただしカエデ類は剪定と同じく行いません。常緑針葉樹はこれからが適期です。すべての移植のコツは適期に根鉢をなるべく大きくとって土と根がばらけられないようにすることです。そして水はけのよい土壌に植えてその後の灌水などに注意を払う事です。

意外と知らない植物の世界

今年もサクラ（ソメイヨシノ）の開花予報が発表されました。南から北上するサクラ前線と呼ばれています。どうしてソメイヨシノだけが指標とされるのでしょうか？ それはソメイヨシノがどれも皆同じ性質をもった個体（クローン）だからです。しかし地球の温暖化が進み冬の温度の低下がなくなると咲かなくなるといわれています。冬の寒さによりスイッチが入りその後の温度（積算温度）により開花する日が予想されるのです。温暖化の弊害は農作物でも危惧されています。福島県はサクランボやリンゴなどの果樹類やコシヒカリに代表される稲作がこのまま進むと産地として成り立たなくなるのではとされているのです。北海道が多くの作物の美味しい産地と言われるようになってしまっているのでしょうか。サクラの話に戻りますが沖縄で見られるカンヒザクラ（ヒカンザクラ）は反対に沖縄本島の北部から咲き始め、そして南下していきます。どうしてでしょうか？

街で見かけた植物

フクジュソウ（福寿草）

キンポウゲ科フクジュソウ属の落葉多年草
陽当たりのよく暖かいところですと早春に開花する。花の色は黄色だけではなくオレンジ色もあり、また一重咲きや八重咲もあります。この花は春の訪れを告げてくれる存在です。春に咲く花の色はなぜか黄色が多いのはなぜでしょうか？受粉をし実を結実させる為にまだ数少ない昆虫によってきてもらうためでしょうか。

